|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 化 学 物 質 名 | 使　用　工　程　等 | 年間の使用量 | 環境中への  排出の有無 | 処　理　方　法　等 |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

（記載要領）

この様式は、工場等における化学物質による環境汚染を未然に防止するために、製造工程等において使用する主要な化学物質名及びその使用工程等を記載するものである。

１　化学物質名

製造工程・試験・研究等において使用する主要な化学物質名について記載すること。

なお、「主要な化学物質」とは、次に該当する化学物質をいう。

【大気関係】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| アンモニア | 弗化水素 | シアン化水素 | 一酸化炭素 |
| ホルムアルデヒド | メタノール | 硫化水素 | 燐化水素 |
| 塩化水素 | 二酸化窒素 | アクロレイン | 二酸化いおう |
| 塩素 | 二硫化炭素 | ベンゼン | ピリジン |
| フェノール | 硫酸（三酸化硫黄を含む。） | 弗化珪素 | ホスゲン |
| 二酸化セレン | クロルスルホン酸 | 黄燐 | 三塩化燐 |
| 臭素 | ニッケルカルボニル | 五塩化燐 | メルカプタン. |

【土壌・水質関係】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| カドミウム及びその化合物 | ポリ塩化ビフェニル | 1,2-ジクロロエチレン | ベンゼン |
| シアン化合物 | トリクロロエチレン | 1,1,1-トリクロロエタン | セレン及びその化合物 |
| 有機燐化合物（※１） | テトラクロロエチレン | 1,1,2-トリクロロエタン | ほう素及びその化合物 |
| 鉛及びその化合物 | ジクロロメタン | 1,3-ジクロロプロペン | ふっ素及びその化合物 |
| 六価クロム化合物 | 四塩化炭素 | チウラム | アンモニア等（※２） |
| 砒素及びその化合物 | 1,2-ジクロロエタン | シマジン | 塩化ビニルモノマー |
| 水銀及びその化合物 | 1,1-ジクロロエチレン | チオベンカルブ | 1,4-ジオキサン |

※１　有機燐化合物…パラチオン、メチルパラチオン、メチルジメトン及びＥＰＮに限る。

※２　アンモニア等…アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物をいう。

２　使用工程等

当該化学物質の使用工程・使用条件等について、記載例を参考に記載すること。

３　年間の使用量

当該化学物質の年間の使用量について、記載例を参考に記載すること。

４　環境中への排出の有無

排出水（冷却水を含む）、ばい煙又は排出ガス等について、当該化学物質の環境中への排出の有無を記載すること。

５　処理方法等

当該化学物質の処理方法等について、記載例を参考に記載すること。

【記載例】

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 化 学 物 質 名 | 使 用 工 程 等 | 年 間 の 使 用 量 | 環 境 中 へ の  排 出 の 有 無 | 処 理 方 法 等 |
| アルシン  (AsH3)) | 不純物添加工程  でのイオン注入 | 50ℓ(濃度15%)  (圧力50㎏/cm) | 無 | 廃水は凝集沈殿処理 |
| トリクロロエチレン  (CHCI=CCI2) | 洗　浄　工　程 | 100ℓ(液体) | 排水中の濃度0.3㎎/ℓ以下にて排出 |  |